平成 24 年 5 月 11 日

各位

会社名　　株式会社ネプロジャパン
代表者名　　代表取締役社長　小澤　正彦
（JASDAQ・コード 9421）
問合せ先
役職・氏名　取締役常務執行役員　筒井　俊光
経営管理本部長
電話　　03-6803-3976

# 業績予想及び配当予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 11 月 4 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 24 年 3 月期通期業績予想並びに平成 23 年 5 月 13 日付「平成 23 年 3 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました平成 24 年 3 月期期末配当予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1．平成 24 年 3 月期連結業績予想の修正

（1）通期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 円　銭 |
| 前回予想（A） | 15,500 | 400 | 330 | 50 | 1,918.50 |
| 今回修正予想（B） | 15,516 | 429 | 411 | 33 | 1,282.77 |
| 増減額（B－A） | 16 | 29 | 81 | △16 | |
| 増 減 率 | 0.1% | 7.4% | 24.7% | △33.1% | |
| （ご参考）平成 23 年 3 月期実績 | 15,403 | △135 | △275 | △1,151 | △44,310.31 |

（2）修正の理由

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想の修正につきまして、移動体通信事業における店舗の改装・移転等や接客販売力の向上によるスマートフォン需要の取り込み強化に加え、管理部門のコスト削減に努めたことにより、売上高は 16 百万円、営業利益は 29 百万円、経常利益は 81 百万円とそれぞれ前回予想値を上回りましたが、当期純利益につきましては「3．特別損失の計上」のとおり貸倒引当金繰入額を計上したことにより、16 百万円下回りました。

２．配当予想の修正

（１）配当予想修正の理由

当社は、平成 23 年 3 月期より本格的に、主力事業である移動体通信事業への経営資源の集中を目指し、不採算事業の整理及び縮小を進めてまいりました。その結果、平成 23 年 3 月期は事業整理損等の計上により、当社の個別当期純損失は 995 百万円となりましたが、平成 24 年 3 月期には業績が回復する見込みであったため、減配ながら 1 株当たり 1,000 円の配当を実施いたしました。

平成 24 年 3 月期は、期初より業績は回復基調となりましたが、平成 23 年 7 月 18 日に当時持分法適用関連会社であった㈱ビーツーアイジャパン（旧㈱ネプロアイティ）が韓国において、小額公募増資申込証拠金の不正出金被害が発生したことにより同社の財務内容が大幅に悪化し、韓国取引所（KOSDAQ）より上場廃止の決定を受けたため、当社においても同社に対する貸付債権及び同社有価証券について、合計 489 百万円と多額の損失を計上することとなりました。

従前より推進していた不採算事業の整理とコスト圧縮をより強化し、移動体通信事業を中心に業績の回復を目指したことで、連結当期純利益は黒字転換を果たしましたが、当社の個別当期純利益は、子会社からの配当金を受領するなどして赤字圧縮に努めたものの、影響を挽回するには至らず、当社個別当期純損益は 135 百万円の損失となりました。

このため、誠に遺憾ではございますが、平成 24 年 3 月期の期末配当を無配とさせていただきます。平成 25 年 3 月期は期末配当 2,000 円の復配を目指し、引き続き移動体通信事業の収益力強化とコスト圧縮を継続し、更なる業績の回復に努めるとともに、安定的な配当を捻出できるよう財務体質の改善を進めてまいります。

（２）修正の内容

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期　　末 | 合　　計 |
| 前回予想 | ― | 円　銭<br>0　00 | ― | 円　銭<br>2000　00 | 円　銭<br>2000　00 |
| 今回修正予想 | ― | ― | ― | 円　銭<br>0　00 | 円　銭<br>0　00 |
| 当期実績 | ― | 円　銭<br>0　00 | ― | | |
| 前期実績<br>（平成23年3月期） | ― | 円　銭<br>0　00 | ― | 円　銭<br>1000　00 | 円　銭<br>1000　00 |

３．特別損失の計上

回収に懸念が生じた貸付債権に対して、平成 24 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、貸倒引当金繰入額 94 百万円を特別損失に計上いたしました。

以上